

認定書

国住指第1971号
平成 16年 11月 24日

信越ポリマー株式会社
代表取締役社長 日浦 致 様

大日本プラスチック株式会社
代表取締役社長 伊丹 淳一 様

タキロン株式会社
代表取締役社長 森下 誠二 様

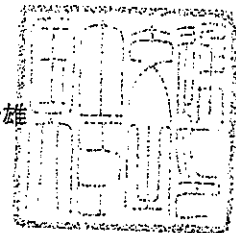
筒中プラスチック工業株式会社
代表取締役社長 多田 和男 様

日本ポリエステル株式会社
代表取締役社長 小澤 良純 様

三菱ガス化学株式会社
代表取締役社長 小高 英紀 様

三菱樹脂株式会社
代表取締役社長 神尾 章 様

国土交通大臣 北側 一雄



下記の構造方法又は建築材料については、建築基準法第68条の26第1項(同法第88条第1項において準用する場合を含む。)の規定に基づき、同法第63条及び同法施行令第136条の2の2第一号(防火地域又は準防火地域内の建築物の屋根(不燃性の物品を保管する倉庫用))の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号

DW-0009

2. 認定をした構造方法又は建築材料の名称

アクリル系樹脂フィルム張ポリカーボネート樹脂波板表張/アルミニウム合金製下地屋根

3. 認定をした構造方法又は建築材料の内容

別添の通り

(注意)この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名

(別添)

アクリル系樹脂フィルム張ポリカーボネート樹脂波板表張/アルミニウム合金製下地屋根

2. 形状及び寸法等

項 目	申 請 構 造
形 状	波板
表 面 形 状	平滑
厚 さ (mm) (下地を除く)	1)~4)のうち、いずれか一仕様とする 1) 9.7 2) 19.0 3) 37.2 4) 37.5
傾 斜 角	0° ~70°

(別添-1)

3. 材料構成

1) 主構成材料

(寸法単位: mm)

項 目	申 請 構 造																																				
葺き材	<p>アクリル系樹脂フィルム張ポリカーボネート樹脂波板 1)～5)のうち、いずれか一仕様とする</p> <table border="1" data-bbox="472 353 1257 577"> <thead> <tr> <th></th> <th>1)</th> <th>2)</th> <th>3)</th> <th>4)</th> <th>5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>山間隔</td> <td>32</td> <td>63</td> <td>76</td> <td colspan="2">130</td> </tr> <tr> <td>谷深さ</td> <td>9_{±2}</td> <td>18_{±2}</td> <td>18_{±2}</td> <td colspan="2">36_{±2}</td> </tr> <tr> <td>厚さ(板厚)</td> <td>0.7_{±0.1}</td> <td>1.0_{±0.1}</td> <td>1.0_{±0.1}</td> <td>1.2_{±0.1}</td> <td>1.5_{±0.1}</td> </tr> <tr> <td>質量(kg/m²)</td> <td>1.0_{±0.1}</td> <td>1.2_{±0.1}</td> <td>1.31_{±0.1}</td> <td>1.45_{±0.1}</td> <td>1.8_{±0.1}</td> </tr> <tr> <td>重ね幅(山)</td> <td>2.5～5</td> <td>1.5～5</td> <td>1.5～5</td> <td>1.5～5</td> <td>1.5～5</td> </tr> </tbody> </table>		1)	2)	3)	4)	5)	山間隔	32	63	76	130		谷深さ	9 _{±2}	18 _{±2}	18 _{±2}	36 _{±2}		厚さ(板厚)	0.7 _{±0.1}	1.0 _{±0.1}	1.0 _{±0.1}	1.2 _{±0.1}	1.5 _{±0.1}	質量(kg/m ²)	1.0 _{±0.1}	1.2 _{±0.1}	1.31 _{±0.1}	1.45 _{±0.1}	1.8 _{±0.1}	重ね幅(山)	2.5～5	1.5～5	1.5～5	1.5～5	1.5～5
	1)	2)	3)	4)	5)																																
山間隔	32	63	76	130																																	
谷深さ	9 _{±2}	18 _{±2}	18 _{±2}	36 _{±2}																																	
厚さ(板厚)	0.7 _{±0.1}	1.0 _{±0.1}	1.0 _{±0.1}	1.2 _{±0.1}	1.5 _{±0.1}																																
質量(kg/m ²)	1.0 _{±0.1}	1.2 _{±0.1}	1.31 _{±0.1}	1.45 _{±0.1}	1.8 _{±0.1}																																
重ね幅(山)	2.5～5	1.5～5	1.5～5	1.5～5	1.5～5																																
表面処理材	<p>1), 2)のうち、いずれか一仕様とする 1) アクリル系樹脂フィルム(葺き材が1)～4)の場合に限る) ・厚さ: 0.07 ・質量: 0.1_{±0.05}kg/m²</p> <p>2) 紫外線吸収剤混入ポリカーボネート樹脂 ・厚さ: 0.07 ・質量: 0.1_{±0.05}kg/m²(固) ・組成(質量%): { ポリカーボネート樹脂・・・・・90以上 { 紫外線吸収剤(ベンゾトリアゾール等)・10以下</p>																																				
基 材	<p>ポリカーボネート樹脂波板 ・厚さ: 0.63_{-0.1}～1.43_{+0.2} ・質量: 0.9_{±0.05}kg/m²～1.7_{±0.05}kg/m² ・組成(質量%): { ポリカーボネート樹脂・99以上 { 有機質系顔料・・・・・1以下</p>																																				
下 地	<p>1), 2)のうち、いずれか一仕様とする 1) 鋼製下地: (1), (2)のうち、いずれか一仕様とする (1) 一般構造用軽量形鋼(JIS G 3350) (2) 熱間圧延鋼材(JIS G 3192) ・形状寸法: ①～④のうち、いずれか一仕様とする ① □ - 60×30×10×1.6 の断面寸法以上 ② □ - 75×40×5 の断面寸法以上 ③ L - 25×25×3 の断面寸法以上 ④ H - 100×50×5 の断面寸法以上 ・間隔: 600 以下</p> <p>2) アルミニウム合金製 ・形状寸法: ①～④のうち、いずれか一仕様とする ① □ - 60×30×10×1.6 の断面寸法以上 ② □ - 75×40×5 の断面寸法以上 ③ L - 25×25×3 の断面寸法以上 ④ H - 100×50×5 の断面寸法以上 ・間隔: 600 以下</p>																																				

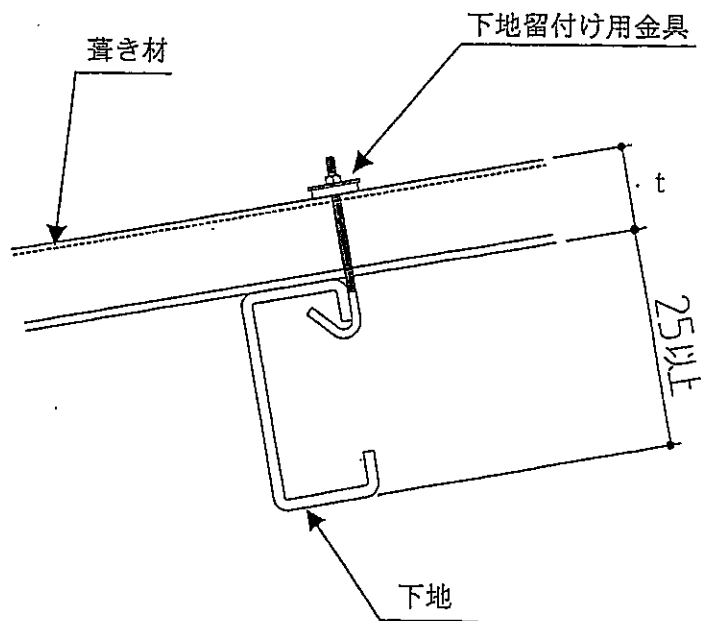
2) 副構成材料

(寸法単位：mm)

項 目	申 請 構 造
下地留付け用金具	[1] : 1), 2) のうち、いずれか一仕様とする 1) 鋼製フックボルト ・寸法：φ2 以上× l 10 以上 2) 鋼製ナミジメ ・寸法：φ2 以上× l 10 以上 [2] 鋼製座金 ・寸法：φ10 以上 [3] ゴム系パッキン ・質量：0.5g/個～2.0g/個

4. 構造説明図 (寸法単位：mm)

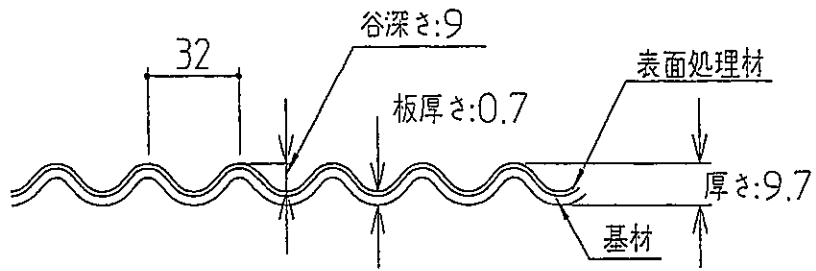
<断面詳細図>



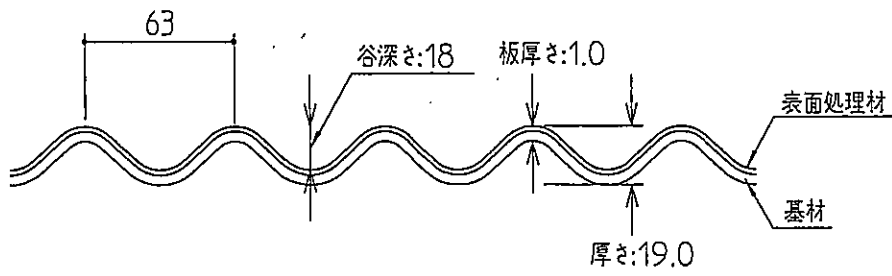
$t = 9.7, 19.0, 37.2, 37.5$

<波板形状図>

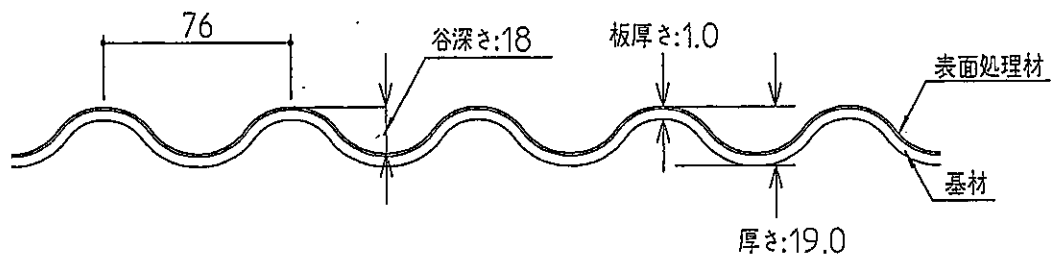
・ 32波



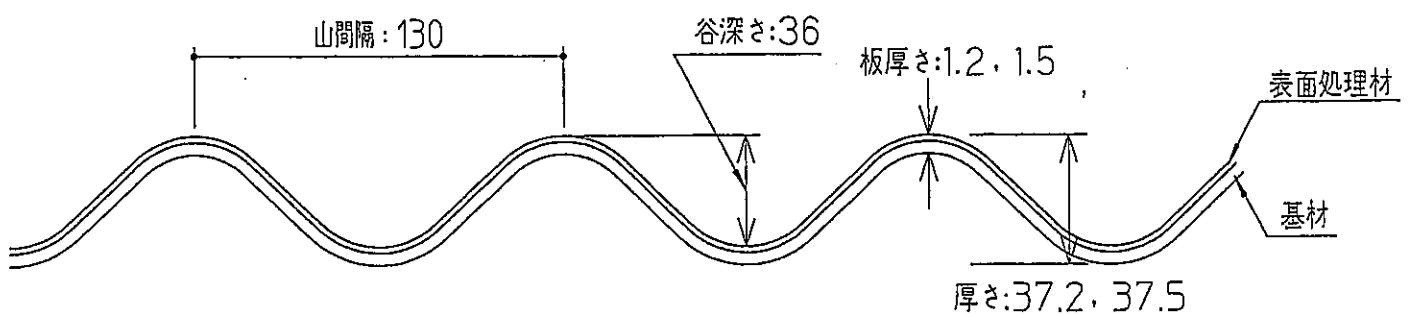
・ 63波



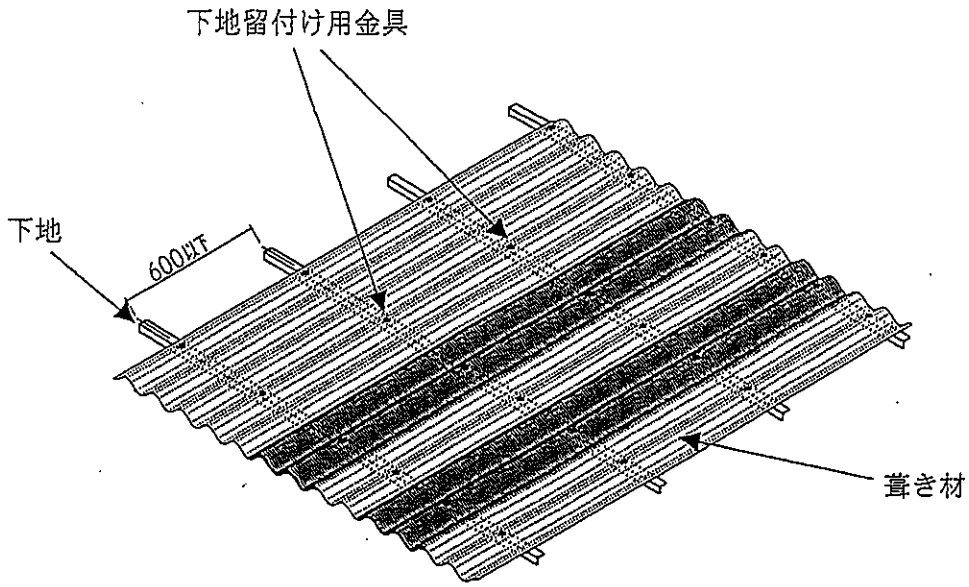
・ 76波



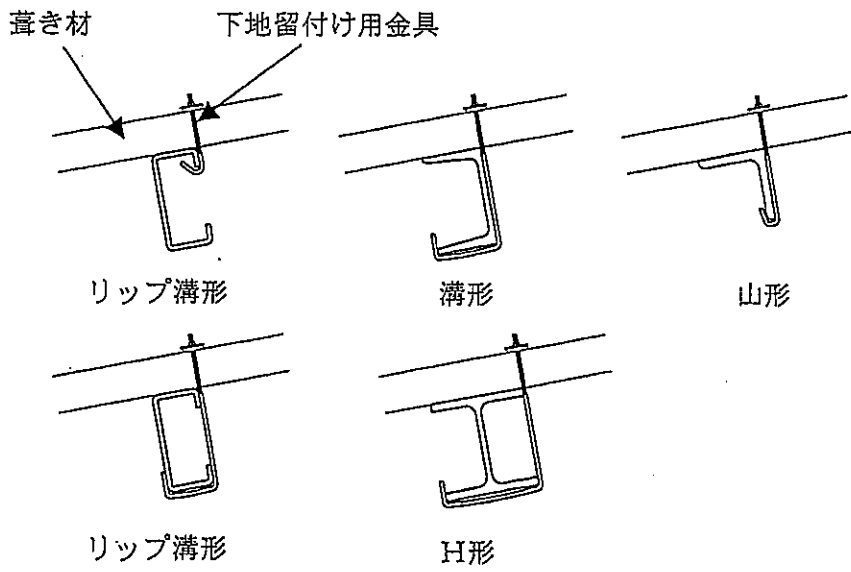
・ 130波



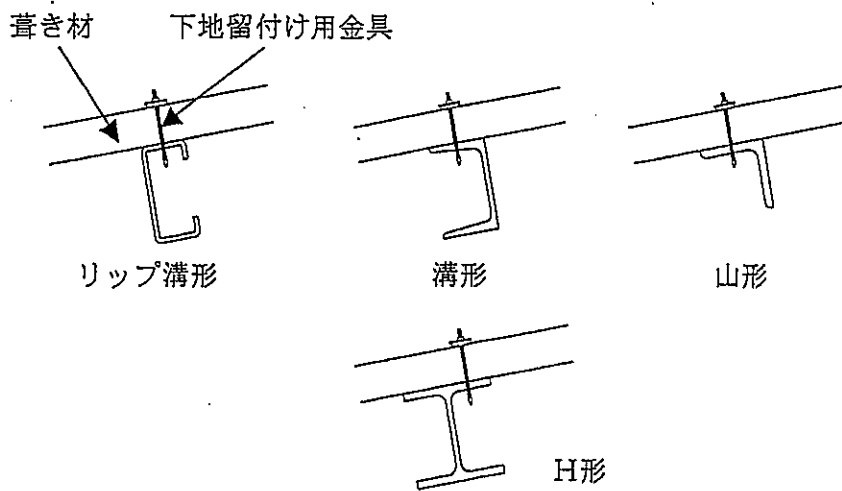
5. 施工方法等
 < 施工図 >



・フックボルト及び座金による取付け



・ナミジメ及び座金による取付け



(別添-5)

< 施工手順 >

1) 下地

下地は鋼製またはアルミニウム合金製とし、間隔は 600mm 以下とする。

2) 加工

穴あけは電動ドリルを使用し、穴の径は使用する鋼製フックボルト・鋼製ナミジメの径より 1~2mm 程大きくする。

3) 取付け

穴あけ部に鋼製座金を用いて下地に応じた鋼製フックボルト・鋼製ナミジメで取付ける。

4) 目地

波板目地部の重ね幅は 32 波で 2.5 山~5 山、63 波・76 波・130 波で 1.5 山~5 山とする。

6. その他注意事項

本製品は、令第 136 条の 2 の 2 かっこ書きに規定する「不燃性の物品を保管する倉庫その他これに類するものとして、国土交通大臣が定める用途に供する建築物又は建築物の部分でその屋根以外の主要構造部が準不燃材料で造られたものの屋根」に限る。